

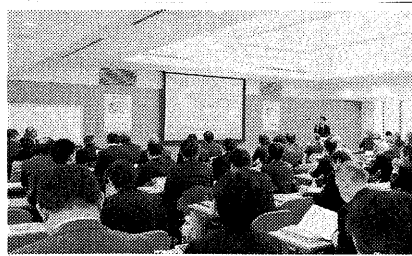
国交省の試行状況紹介

土木学会CIM講演会

土木学会（橋本鋼太郎会長）は9日、「コンストラクションインフォメーションモデリング（CIM）」に関する講演会を東京都新宿区の土木学会講堂で開いた。写真。国土交通省の高村祐平官

房技術調査課建設システム管理企画室長と小輪瀬良司関東地方整備局企画部技術調整管理官が、CIMの導入効果やモデル事業による試行状況などを紹介。今年9月に米国土交通省の高村祐平官で実施した調査の報告も

行われた。



冒頭、土木情報学委員

会国土基盤モデル小委員会の村井重雄委員長があいさつし、「CIMの導入が増えてきており、建設プロセスを変えようという動きが大きくなっている。業界全体の生産性向上につなげていただきたい」と狙いを語った。

住民説明などへの活用による合意形成の促進といったCIMのメリットを挙げ、「3次元が当たり前になるのが方向性だ」と強調した。

小輪瀬管理官は、中部横断道入之沢川橋詳細設計などでの試行で確認された効果を説明し「複雑な施工手順や支障物の多い現場ではより有効だ」と述べた。一方で、単純構造などでは3次元化しても設計時間を費やすだけの効果が少なく、何ぞどこまでモデル化すべきかなどルールが必要だと指摘した。

【建設ICT】

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 日経 | 2. 朝日 | 3. 毎日 |
| 4. 読売 | 5. 岐阜 | 6. 中日 |
| 7. 産経 | 8. 静岡 | 9. 伊勢 |
| 10. 中部経済 | 11. 建通 | 12. 日刊工業 |
| 13. 建設通信 | 14. 信濃毎日 | 15. 日本海事 |
| ⑩建設工業 | | |

平成25年12月10日（朝）・夕）P2